

平成19年3月期決算説明会資料

平成19年5月18日



	ページ
I. 平成19年3月期決算（連結） ～全体概要～	1
I-1. 決算（連結）の状況	2
I-2. 業績推移	3
I-3. 連結財政状態	4
I-4. 連結キャッシュ・フローの状況	5
II. 平成19年3月期決算（連結） ～セグメント別概要～	6
II-1. 事業の種類別セグメントの営業収益	7
II-2. 事業の種類別セグメントの営業利益	8
補足資料① 保管用倉庫面積・保管残高	9
補足資料② トラックルーム期末保管残高	10
補足資料③ 港湾運送取扱量	11
補足資料④ 国際輸送取扱量	12
補足資料⑤ 不動産賃貸面積	13
II-3. 事業の種類別セグメントの設備投資額・減価償却費	14
II-4. 主な設備投資案件	15
III. 次期（平成20年3月期）決算予想（連結）	16
III-1. 次期決算予想 ①全体概要	17
III-2. 次期決算予想 ②事業の種類別セグメント概要	18
III-3. 次期決算予想 ③設備投資額と減価償却費	19
III-4. 次期決算予想 ④主な設備投資案件	20
IV. 中期経営計画の推進	21
IV-1. 大阪港 南港 東地区 大型物流センター建設	22, 23
IV-2. 遠州トラックとの協働	24
IV-3. アジアにおける取り組み状況	25, 26
IV-4. その他取り組み案件の進捗状況	27, 28
IV-5. 中期経営計画期間中の業績見通し	29

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照下さい。本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありえますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

I.平成19年3月期決算(連結) ～全体概要～

【平成19年3月期】

■営業収益: 121, 587百万円 (+15,890百万円、+15.0%)

■営業利益: 7, 366百万円 (+ 1,662百万円、+29.1%)

※新規連結子会社 8社。業績影響額: 営業収益 111億円、営業利益 5.6億円。

(単位: 億円)

	営業収益	営業利益	備 考
アイスター(株)	22	0.3	
遠州トラック(株)グループ4社	89	5.3	10月以降6か月分のみ反映
住友倉儲(中国)有限公司	—	—	営業開始前のため、営業利益段階に影響なし
住倉シンガポール	—	—	持分法投資損益及び貸借対照表に反映。
ユニオン・サービス・シンガポール	—	—	貸借対照表に反映。
計	111	5.6	

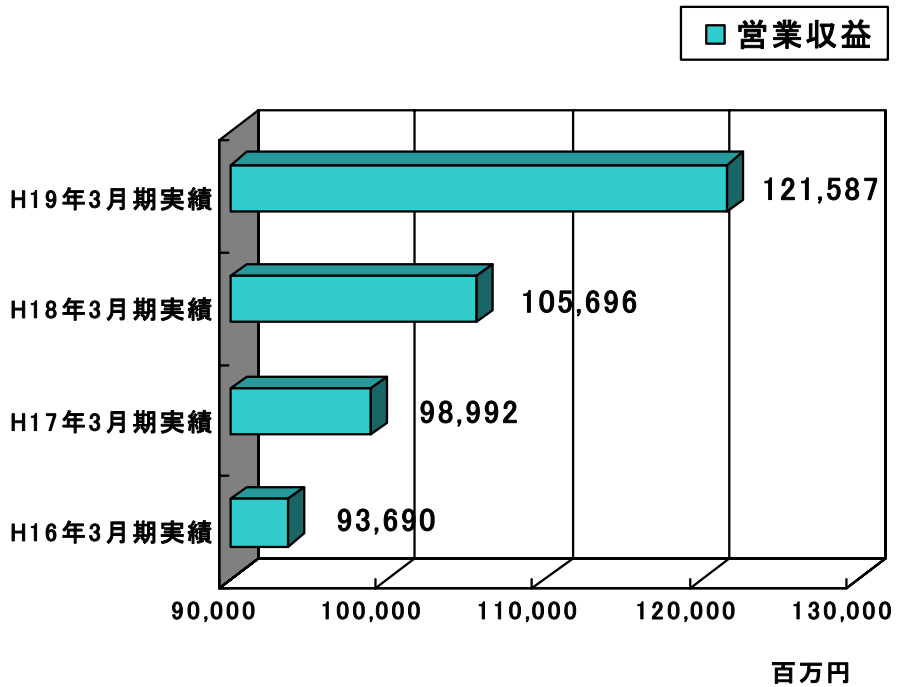
決算(連結)の状況

単位:百万円

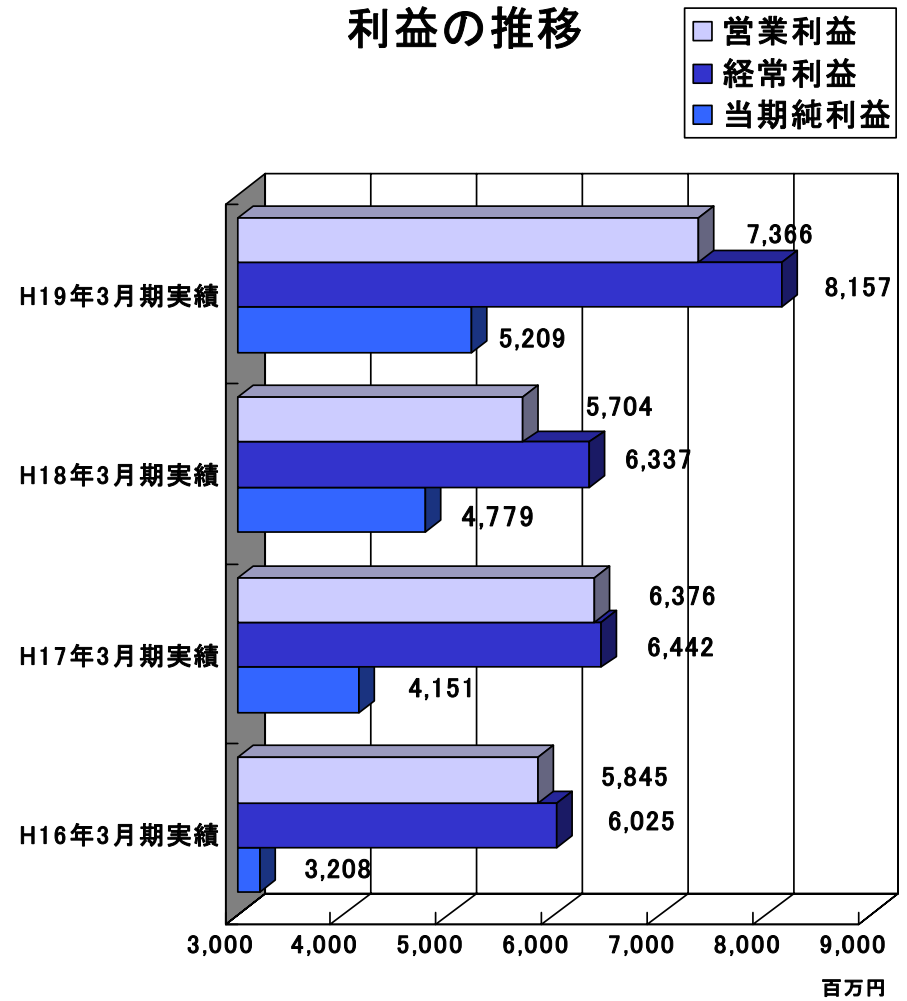
決算期	平成18年3月期		平成19年3月期		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	105,696	100.0%	121,587	100.0%	15,890	15.0%
営業利益	5,704	5.4%	7,366	6.1%	1,662	29.1%
経常利益	6,337	6.0%	8,157	6.7%	1,820	28.7%
当期純利益	4,779	4.5%	5,209	4.3%	429	9.0%
1株当たり当期純利益(円)	25.96	-	27.12	-	-	-

営業収益	国際輸送では日中間など一貫輸送が好調で、航空貨物取扱いも回復。一般荷捌もタイヤや情報機器・家電の取扱増などで増収。遠州トラック(株)やアイスター(株)の子会社化も寄与。
営業利益	物流事業では一般荷捌や国際輸送が好調に推移したほかトランクルーム事業の増収により増益。遠州トラック(株)の子会社化も寄与。不動産事業では綱島マンションが新規稼働し増益。
経常利益	支払利息は増加したが、受取配当金の増加に加え、シンジケートローンの組成費用が減少したため、営業外損益は好転し増益となった。
当期純利益	前年度に計上した減損損失や特別営繕費はなくなったが、投資有価証券売却益が減少した影響が大きく増益幅は縮小した。

営業収益の推移



利益の推移



連結財政状態

単位:百万円

区 分	平成18年3月期末	平成19年3月期末	増 減 額
総 資 産	235,258	279,156	43,898
負 債	94,217	130,784	36,566
純 資 産	141,041	148,372	7,331
(うち少数株主持分)	(1,129)	(3,801)	(2,671)
自己資本比率	59.5%	51.8%	-
1株当たり純資産	731.70円	753.21円	21.51円
自己資本当期純利益率	3.9%	3.7%	-

注:前期末の純資産には当期末との比較を容易にするため、少数株主持分を含めている。

総 資 産	土地など設備投資、取引先株式の取得及び時価の上昇による投資有価証券の増加のほか、遠州トラック(株)等の子会社化による増加。
負 債	シンジケートローン借入に伴う借入金の増加のほか、遠州トラック(株)等の子会社化による増加。
純 資 産	利益剰余金や有価証券評価差額金の増加に加え、遠州トラック(株)の子会社化に伴う少数株主持分もあり増加。

連結キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

区 分	平成18年3月期	平成19年3月期	増 減 額
営業活動によるCF	4,435	7,731	3,296
投資活動によるCF	▲20,874	▲24,437	▲3,563
財務活動によるCF	13,650	21,598	7,948
現金及び現金同等物の期末残高	8,881	13,977	5,095

営業活動によるCF	税金等調整前当期純利益の増加や預り金の返還が減少したことによる増加に加え、遠州トラック(株)の子会社化により増加。
投資活動によるCF	設備投資に伴う固定資産の取得による支出が増加したほか、投資有価証券の売却による収入が減少したため減少。
財務活動によるCF	前年度にあった転換社債償還資金の返戻に伴う収入はなくなったが、シンジケートローンなどの借入により増加。

Ⅱ.平成19年3月期決算(連結) ～セグメント別概要～

【平成19年3月期】事業の種類別セグメント

◆物流事業

営業収益: 112,251百万円 (+15,436百万円、+15.9%)

営業利益: 5,596百万円 (+1,424百万円、+34.2%)

◆不動産事業

営業収益: 9,718百万円 (+566百万円、+6.2%)

営業利益: 5,168百万円 (+324百万円、+6.7%)

※アイスター(株)及び遠州トラック(株)グループ4社のセグメント別影響額

物流事業 営業収益: 約110億円 営業利益: 約6.7億円

不動産事業 営業収益: 約1億円 営業利益: 約0.5億円。

事業の種類別セグメントの営業収益

単位:百万円

区 分	平成18年3月期	平成19年3月期	増	減
1. 物流事業	96,814	112,251	15,436	15.9%
①倉庫業収益	13,468	16,639	3,171	23.6%
②港湾運送業収益	35,248	37,452	2,204	6.3%
③国際輸送業収益	25,597	28,761	3,164	12.4%
④陸上運送業ほか収益	22,500	29,396	6,896	30.6%
2. 不動産事業	9,151	9,718	566	6.2%
⑤不動産事業収益	9,151	9,718	566	6.2%
計	105,966	121,969	16,003	15.1%
セグメント間内部営業収益	▲269	▲381	▲112	▲41.8%
営業収益	105,696	121,587	15,890	15.0%

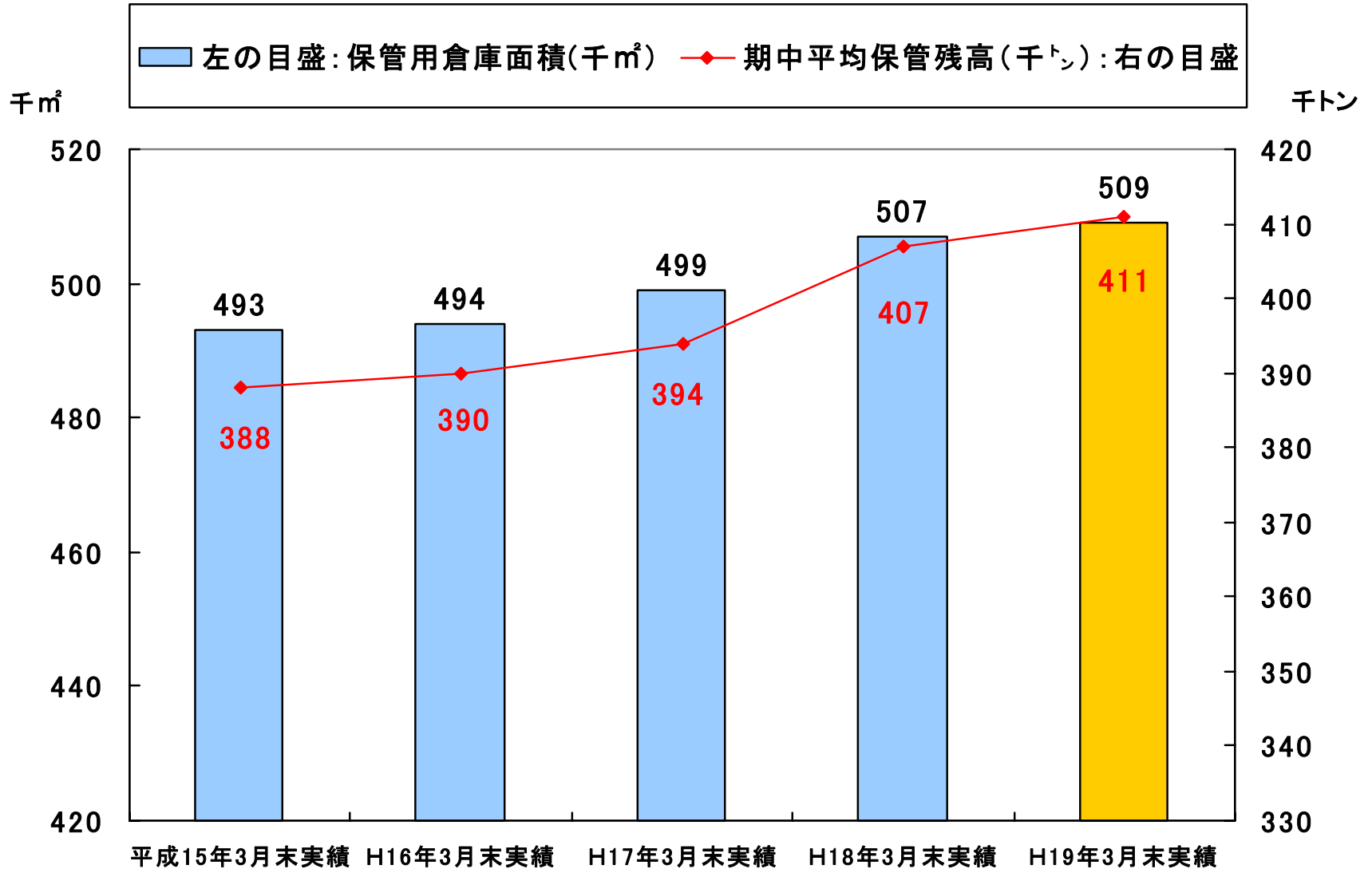
①倉庫業収益	トランクルーム事業の好調に加え、遠州トラック㈱の子会社化による影響もあり増収。
②港湾運送業収益	一般荷捌においてタイヤや情報機器・家電の輸入取扱増など輸出入とも好調。
③国際輸送業収益	日中間などの一貫輸送好調に加え、航空貨物取扱いも回復。
④陸上運送業ほか収益	遠州トラック㈱及びアイスター㈱の子会社化による増収。
⑤不動産事業収益	網島マンションの新規稼働及び前年度のテナント入替物件のフル稼働が寄与。

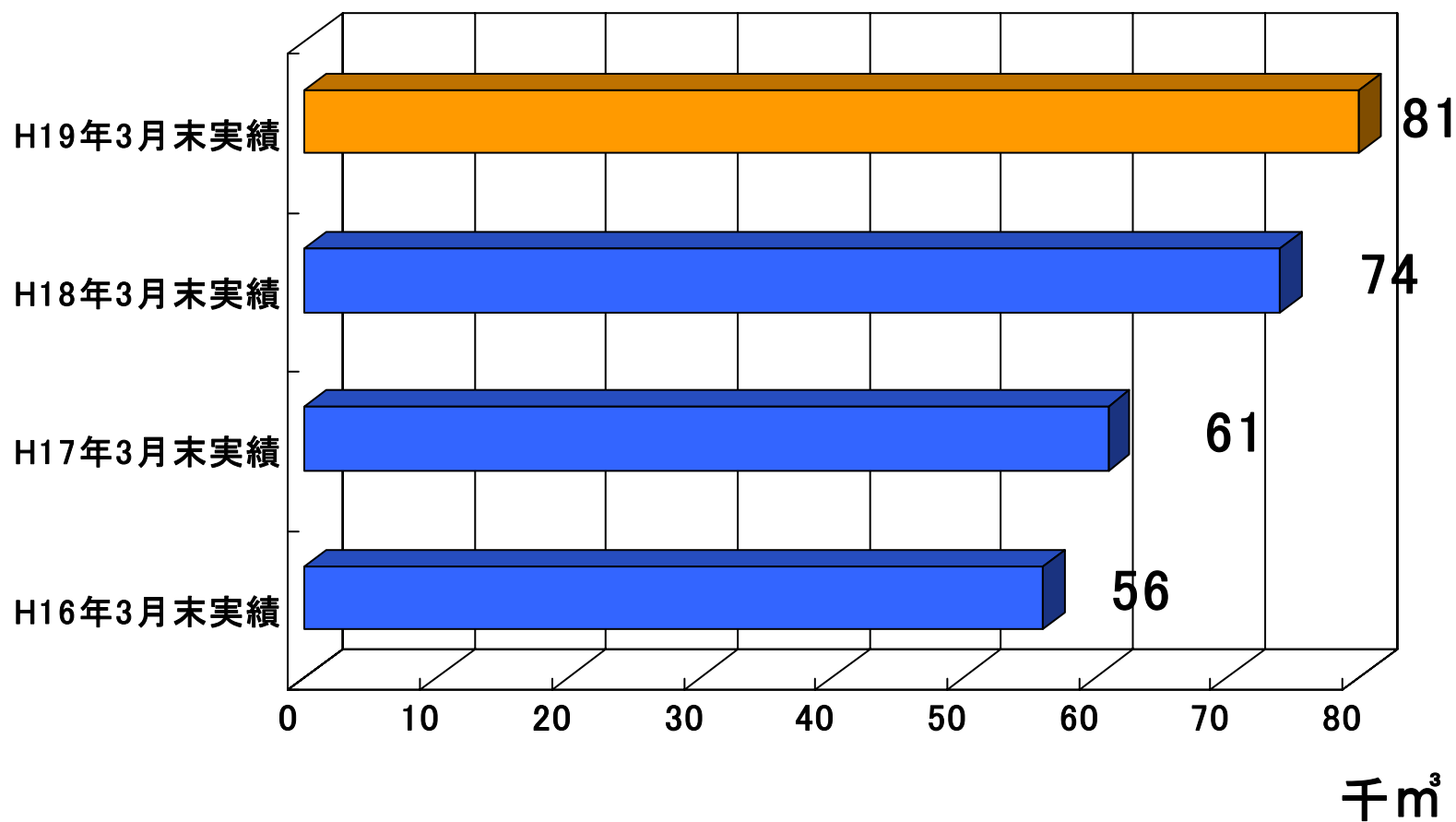
事業の種類別セグメントの営業利益

単位: 百万円

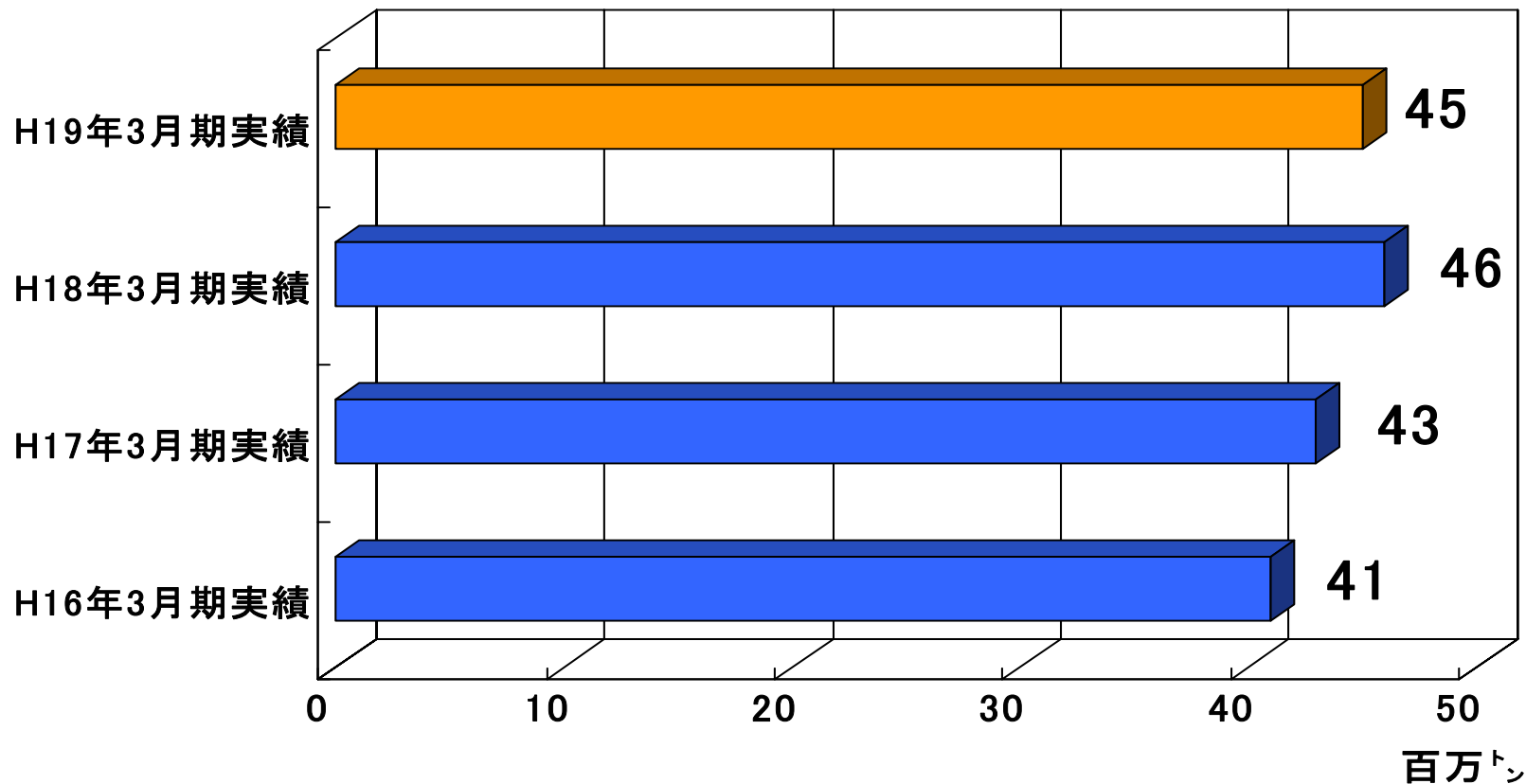
区 分	平成18年3月期	平成19年3月期	増	減
1. 物流事業	4,171	5,596	1,424	34.2%
2. 不動産事業	4,843	5,168	324	6.7%
計	9,015	10,764	1,749	19.4%
消去又は全社	▲3,310	▲3,397	▲86	▲2.6%
営業利益	5,704	7,366	1,662	29.1%

1. 物流事業	一般荷捌や国際輸送が好調に推移したほかトランクルーム事業の増収に伴い増益。遠州トラック株の子会社化も寄与。
2. 不動産事業	綱島マンションの新規稼働及び前年度のテナント入替物件のフル稼働が寄与。

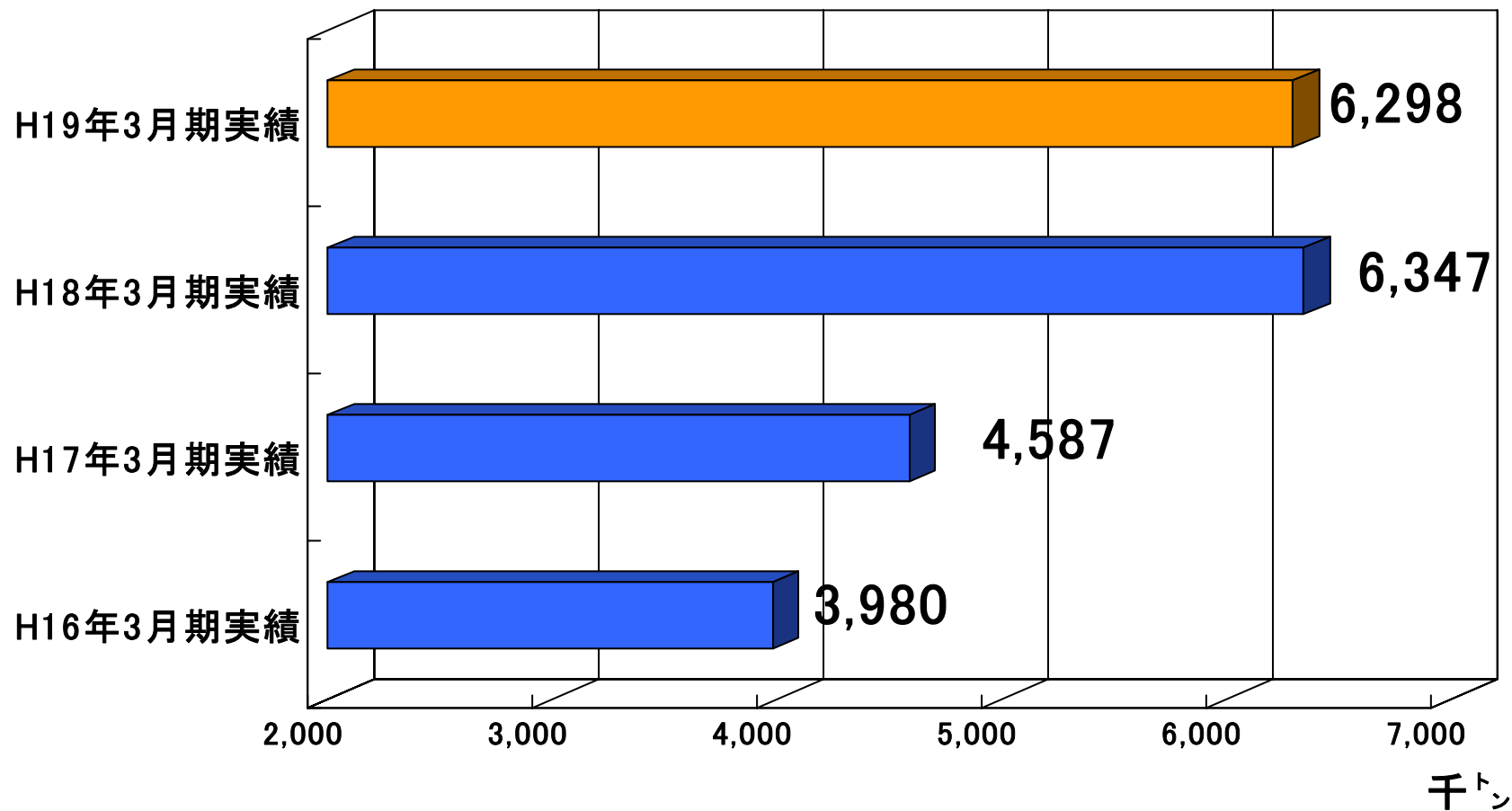




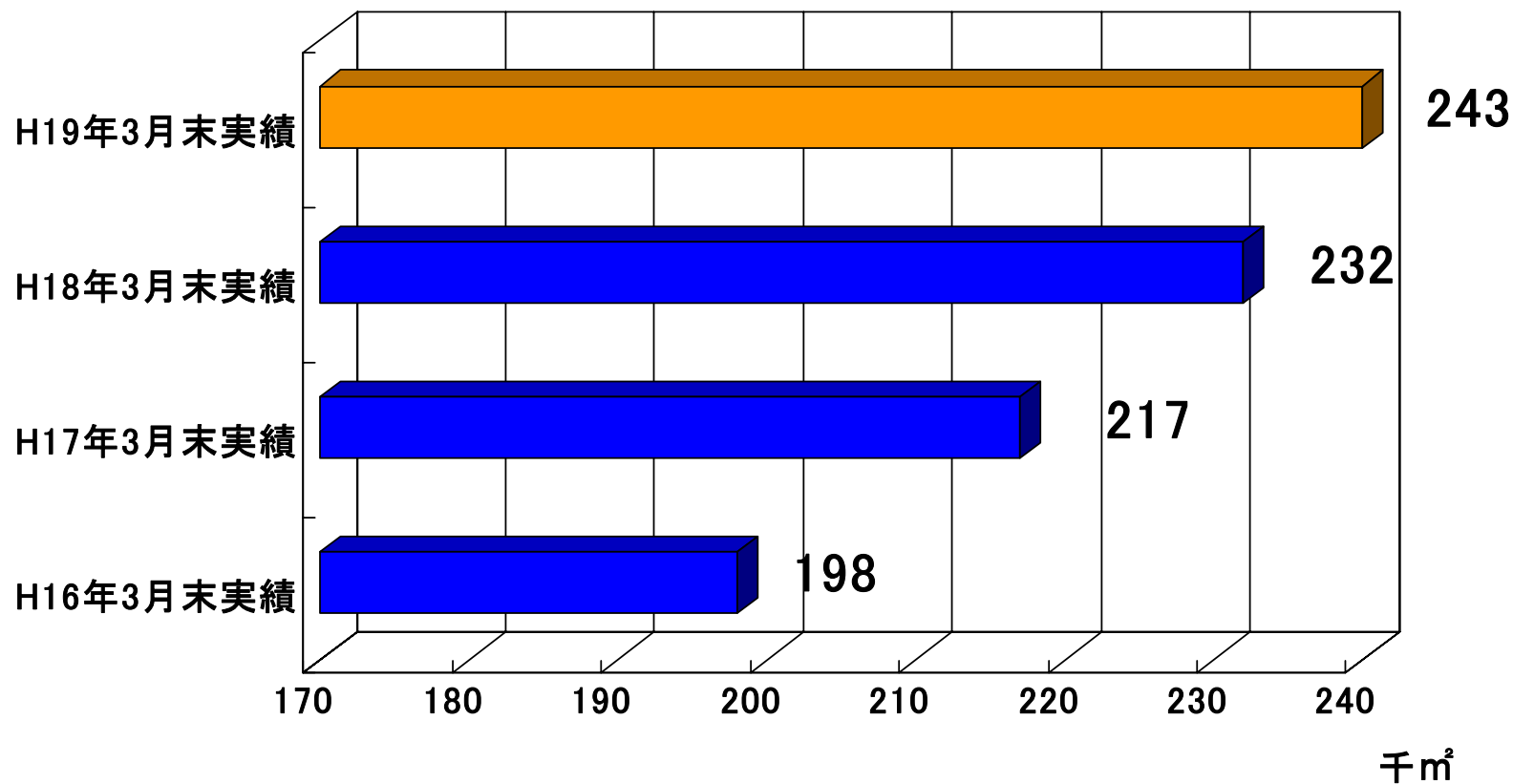
港湾運送取扱量



国際輸送取扱量



賃貸ビル



a.設備投資額

単位：百万円

区 分	平成18年3月期	平成19年3月期	増 減 額
1. 物流事業	5,243	10,638	5,394
2. 不動産事業	4,625	1,692	▲2,933
計	9,869	12,331	2,461
3. 全 社	529	671	141
連 結	10,399	13,002	2,602

b.減価償却費

単位：百万円

区 分	平成18年3月期	平成19年3月期	増	減
1. 物流事業	2,828	2,954	125	4.4%
2. 不動産事業	1,954	2,061	107	5.5%
計	4,783	5,016	232	4.9%
3. 全 社	148	148	0	0.1%
連 結	4,931	5,164	233	4.7%

Ⅱ-4. 主な設備投資案件

区 分		概 要	平成19年3月期 実 績
物 流 事 業	弥富埠頭土地購入 (愛知県弥富市)	時 期：平成18年7月 設備投資額：17億1百万円 面 積：24,849㎡(7,517坪)	11億65百万円
	南本牧倉庫建設工事	工 期：平成18年7月～平成19年7月 設備投資額：25億10百万円 構造・面積：鉄筋コンクリート造5階建、延床面積23,475㎡(7,101坪)	14億18百万円
	羽生トランクルーム営業所 第三期倉庫建設工事	工 期：平成18年9月～平成19年7月 設備投資額：14億1百万円 構造・面積：鉄骨造4階建、延床面積10,009㎡(3,028坪)	8億10百万円
	大阪港南港東土地購入 (大阪市住之江区)	時 期：平成18年10月 設備投資額：40億54百万円 面 積：33,890㎡(10,252坪)	40億54百万円
	大阪港南港東物流センター 及び併設倉庫建設工事	工 期：平成19年3月～平成20年5月 設備投資額：76億33百万円 構造・面積：(物流センター)鉄筋コンクリート造3階建、 延床面積47,770㎡(14,450坪) <うち自動倉庫：鉄骨造平屋建、8,570㎡(6階換算)> (併設倉庫)鉄筋コンクリート造4階建、延床面積16,638㎡(5,033坪)	18億円
	中国上海市土地借地権購入 (住友倉儲(中国)有限公司)	時 期：平成18年11月 設備投資額：6億31百万円 面 積：40,597㎡(12,281坪)	6億8百万円
不 動 産 事 業	住友ツインビル中央監視 設備等更新工事	工 期：平成15年4月～平成19年2月 設備投資額：21億81百万円	3億30百万円
	南堀江マンション建設工事 (住戸142戸+店舗1区画)	工 期：平成17年4月～平成19年1月 設備投資額：16億66百万円 構造・面積：鉄筋コンクリート造14階・地下1階建、延床面積9,132㎡(2,762坪)	11億67百万円
全 社	次期情報システム開発費用	工 期：平成17年4月～平成20年3月 設備投資額：12億93百万円	4億72百万円

Ⅲ. 次期(平成20年3月期)決算予想(連結)

【平成20年3月期予想】

- 営業収益: 135,000百万円 (+13,412百万円、+11.0%)
- 営業利益: 8,300百万円 (+933百万円、+12.7%)

単位：百万円

決算期	平成19年3月期実績	平成20年3月期予想	増 減	
	金 額	金 額	金 額	比 率
営業収益	121,587	135,000	13,412	11.0%
営業利益	7,366	8,300	933	12.7%
経常利益	8,157	8,800	642	7.9%
当期純利益	5,209	5,300	90	1.7%
1株当たり当期純利益（円）	27.12	27.62	-	-

営業収益	物流事業において一般荷捌や国際輸送の業績が引き続き好調に推移することが見込まれるうえ、浦安キャノン配送センターや南本牧倉庫等の新規稼働、遠州トラックの通期寄与もあり増収。
営業利益	物流事業の増収による利益増に加え、不動産事業では先般竣工した南堀江マンションの稼働が寄与するため増益。
経常利益	借入金の増加により支払利息が増加することに加え、道頓堀人道橋への寄付金も発生するため増益幅は縮小。
当期純利益	日興コーディアルグループの株式をTOBに応募し売却したことをはじめ、株式にかかる売却益を7億円程度見込む。（平成19年3月期の投資有価証券売却益は約16億円）

a. 営業収益

単位：百万円

区 分	平成19年3月期 実績	平成20年3月期 予想	増 減	
1. 物流事業	112,251	125,200	12,948	11.5%
2. 不動産事業	9,718	10,200	481	5.0%
計	121,969	135,400	13,430	11.0%
消去又は全社	▲381	▲400	▲18	▲4.8%
営業収益	121,587	135,000	13,412	11.0%

b. 営業利益

単位：百万円

区 分	平成19年3月期 実績	平成20年3月期 予想	増 減	
1. 物流事業	5,596	6,400	803	14.4%
2. 不動産事業	5,168	5,500	331	6.4%
計	10,764	11,900	1,135	10.5%
消去又は全社	▲3,397	▲3,600	▲202	▲6.0%
営業利益	7,366	8,300	933	12.7%

a.設備投資額

単位:百万円

区 分	平成19年3月期実績	平成20年3月期予想	増 減
1. 物流事業	10,638	11,000	361
2. 不動産事業	1,692	1,500	▲192
計	12,331	12,500	168
3. 全社	671	500	▲171
連 結	13,002	13,000	▲2

b.減価償却費

単位:百万円

区 分	平成19年3月期実績	平成20年3月期予想	増	減
1. 物流事業	2,954	3,380	425	14.4%
2. 不動産事業	2,061	2,120	58	2.8%
計	5,016	5,500	483	9.6%
3. 全社	148	160	11	7.7%
連 結	5,164	5,660	495	9.6%

注:平成20年3月期予想に含まれる減価償却費のルール変更による影響額は、物流事業で約1.3億円、不動産事業で約0.5億円である。

区 分		概 要	平成20年3月期 予 想
物 流 事 業	南本牧倉庫建設工事	工 期：平成18年7月～平成19年7月 設備投資額：25億10百万円 構造・面積：鉄筋コンクリート造5階建、延床面積23,475㎡(7,101坪)	10億91百万円
	羽生トランクルーム営業所 第三期倉庫建設工事	工 期：平成18年9月～平成19年7月 設備投資額：14億1百万円 構造・面積：鉄骨造4階建、延床面積10,009㎡(3,028坪)	5億91百万円
	大阪港南港東物流センター 及び併設倉庫建設工事	工 期：平成19年3月～平成20年5月 設備投資額：76億33百万円 構造・面積：(物流センター)鉄筋コンクリート造3階建、 延床面積47,770㎡(14,450坪) <うち自動倉庫：鉄骨造平屋建、8,570㎡(6階換算)> (併設倉庫)鉄筋コンクリート造4階建、延床面積16,638㎡(5,033坪)	38億61百万円
	中国上海倉庫建設工事 (住友倉儲(中国)有限公司)	時 期：平成19年5月～平成20年1月 設備投資額：10億61百万円 構造・面積：鉄骨造3階建、延床面積38,458㎡(11,633坪)	10億61百万円
	倉庫建物建設工事 (羽生下川崎トランクルーム、 弥富倉庫)	—	23億25百万円
不 動 産 事 業	掛川倉庫建設工事	工 期：平成18年12月～平成19年12月 設備投資額：18億30百万円 構造・面積：鉄骨造2階・一部地下1階建、延床面積19,964㎡(6,039坪)	18億30百万円
	道頓堀B地区建物建設工事	—	2億88百万円
全 社	次期情報システム開発費用	工 期：平成17年4月～平成20年3月 設備投資額：12億93百万円	3億52百万円

IV.中期経営計画の推進

～平成19年3月期(連結)における取り組み～

1. 大阪港 南港 東地区 大型物流センター建設
2. 遠州トラックとの協働
3. アジアにおける取り組み状況
4. その他取り組み案件の進捗状況
5. 中期経営計画期間中の業績見通し

■大阪港 南港 東地区にミズノ(株)専用の物流センターを建設

- ・延床面積約3万7千㎡。
- ・約7千パレット収容の自動倉庫併設。
- ・同敷地内に一般貨物等を取扱う営業倉庫を併設。
 ーセキュリティの充実ー
 暗証番号によるエレベータ制御装置導入等



	物流センター	併設倉庫
所在地	大阪市住之江区南港東	
敷地面積	33,890㎡	
構造	鉄筋コンクリート造3階建、 自動倉庫部分は鉄筋造平屋建	鉄筋コンクリート造 4階建
延床面積	47,770㎡ うち自動倉庫8,570㎡	16,638㎡
着工時期	平成19年3月	
竣工時期	平成20年5月	
稼働時期	平成20年8月	



■環境に配慮した物流施設として「建築物総合環境性能評価システム(CASBEE)」—大阪(*)
 においてAランクを取得予定

○太陽光発電システムを設置

・発電容量は300kw。

国内の物流施設最大規模。

・施設の消費電力の10%を賄う計画。

○ヒートアイランド対策として屋上を緑化



(*) CASBEEとは、建物を環境性能で格付けする手法。

国土交通省主導の下、(財)建築環境・省エネルギー機構(IEEC)が開発し、認証。また、大阪市や横浜市等においては、
 本気純を元に地域特性を踏まえ調整した「CASBEE—大阪」や「CASBEE—横浜」といった評価システムを策定。



グリーン経営(倉庫業)認証取得

【取得時期及び事業所】

◆平成18年10月

大阪支店東大阪営業所・安治川営業所

◆平成19年 1月

大阪港支店南港第二営業所

横浜支店厚木営業所(第2倉庫)



■ 静岡県掛川市に新倉庫を建設

◎ 中部地区の優良顧客層への
事業展開

- ・ 遠州トラックが中部地区有力メーカーの保管、配送等業務取り扱い
- ・ 当社が倉庫を建設し、遠州トラックに賃貸



所在地	静岡県掛川市
敷地面積	20,228㎡
延床面積	19,964㎡
構造	鉄骨造、一部地下1階・地上2階建
建設工事費用	1,807百万円
稼働時期	平成20年1月(予定)



■中国

☆住友倉儲(中国)有限公司の設立(平成18年11月)と新倉庫建設

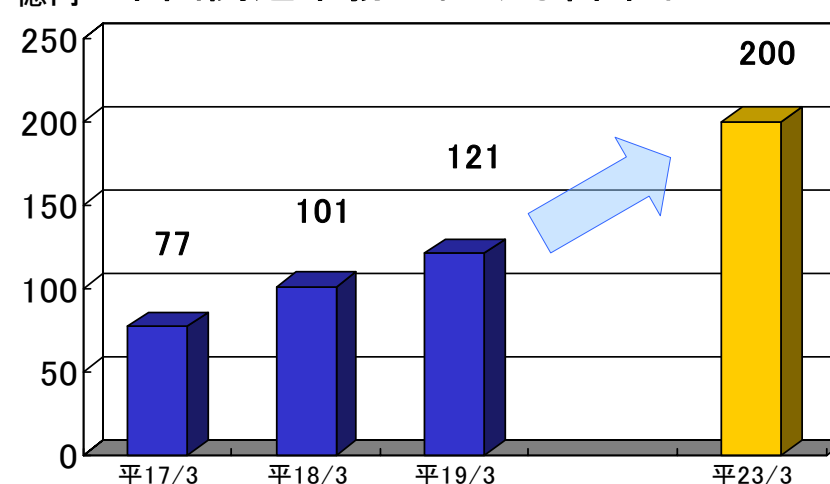
所在地	上海市金橋輸出加工区南区
土地使用権	40,597㎡
倉庫構造	鉄筋コンクリート3階建 2棟
延床面積	38,458㎡
稼働予定	平成20年3月
事業内容	電機電子部品の配送センターや自動車パーツセンターを誘致予定



☆中国関連業務全体で平成22年度に
目標営業収益200億円(年約15%伸長)

- ・当社グループの中国における拠点
支店レベルで 計21か所
(上海、香港、広州、深圳、青島、蘇州、
北京、大連、天津、武漢、襄樊)

中国関連業務における営業収益



■シンガポール

☆住倉シンガポールの完全子会社化 及びユニオン・サービシズ・シンガポールの 子会社化

○当社は昭和54年5月に進出。
昭和63年10月に単独出資で
「シンガポール住友倉庫会社」設立。

○アジア地域への輸出拠点として存在価値大。

○現地業務のコントロール強化により、高品質のサービスを提供し、他社と差別化。



シンガポール住友倉庫会社

会 社 名	出 資 比 率	業 務 内 容
住 倉 シ ン ガ ポ ー ル	100%	「シンガポール住友倉庫会社」の倉庫内作業、荷捌、運送等
ユ ニ オ ン ・ サ ー ビ シ ズ ・ シ ン ガ ポ ー ル	80%	化学メーカーの工場内倉庫における保管、入出庫、通関等

■オムロン住倉ロジスティック(株)設立 (平成19年4月1日)

- ・オムロン(株)の物流子会社
オムロンロジスティッククリエイツ(株)に
資本参加 (出資比率49%)
- ・オムロン(株)製品物流の運営管理

本店所在地	大阪市北区堂島
主な事業内容	オムロン製品の国内外の輸配送、 輸出入業務、物流拠点の運営管理、 輸出入製品の検査代行等
資本金	90百万円
持株比率	当社49%、オムロン51%
売上高予想	約120億円(平成20年3月期)



■キヤノングループ新東京物流センター稼働 (平成19年4月20日)

- ・大和ハウス工業(株)とのコラボレーション
- ・当社最大規模の延床面積76,490m²

所在地	千葉県浦安市千鳥
敷地面積	約38,460m ²
構造	鉄骨造5階建
延床面積	約76,490m ²



「建築物総合環境性能評価システム(CASBEE)」
において、倉庫施設として日本初となる「Aランク」
の認証取得を予定

■道頓堀再開発プロジェクト

☆南堀江マンション竣工(平成19年1月16日)

所在地	大阪市西区南堀江1丁目17番11号
構造	鉄筋コンクリート造14階建
延床面積	9,132㎡(2,762坪)
住戸数・店舗	住戸142戸、店舗1区画

☆再開発メイン施設は商業・ホテル・賃貸住宅の複合施設に

☆川沿い商業施設は、人道橋完工にあわせ、平成20年6月末竣工予定。



■データ・ストレージ・サービス事業の統括組織「アーカイブ事業課」新設 (平成19年3月1日)

○羽生市下川崎土地(約34千㎡)に新施設の建設を検討中

○「ライフサイクル・マネジメント業務」の提供

・書類、映像・磁気テープ等の記録媒体を集配からファイリング保管、電子化、廃棄まで一貫したサービスを実施。

	中期経営計画 営業利益目標	営業利益の 見通し	摘 要
平成20年3月期	—	83億円	本業の好調に加え、遠州トラックの通期寄与で過去最高を更新
平成21年3月期	80億円	踊り場	複数の大型施設新規稼働により一時費用発生
平成23年3月期	110億円	110億円	業績向上のための様々な施策を着実に実行 減価償却費ルール変更に伴う費用増等を吸収

本日はありがとうございました



IRに関する連絡先

株式会社 住友倉庫 事業推進部広報IR課(担当:加藤)

〒550-0021 大阪市西区川口2-1-5

TEL 06-6581-1104 FAX 06-6581-3870

E-Mail : ir_mbx@sumitomo-soko.co.jp